

授業改善推進チームを活用した授業力向上の取組について

根室市立北斗小学校 学級数 19 (校長 小川 一)
 根室市立花咲小学校 学級数 10 (校長 植島 博幸)
 根室市立成央小学校 学級数 18 (校長 天羽 学)

I 本実践の概要

根室市内の3校は、平成31年度から北海道教育委員会の「授業改善推進チーム活用事業」の指定を受け、学校全体で組織的・継続的に授業改善に取り組んだ。

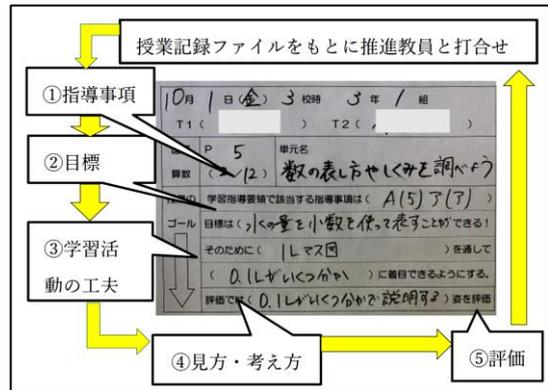
具体的な取組としては、「授業記録ファイル」や「アクライズ」(授業検証システム)を活用した授業改善を図るとともに、根室市教育委員会と連携して、教師用の端末を活用し、各教員の授業動画を共有するなどし、好事例を普及した。

II 本実践の内容

1 「授業記録ファイル」の取組

身に付けさせたい力を明確にした授業づくりの実現に向けて、「授業記録ファイル」を活用した。

授業者は事前に①「学習指導要領に示されている指導事項」、②「本時の目標」、③④「目標の達成に向け何に着眼し、どのような工夫をするのか」、⑤「評価(児童の姿)」を「授業記録ファイル」に記入し授業を行った。推進チームの教員は「授業記録ファイル」の内容を基に参観し、授業の良い点や改善点を追記して、授業者に知らせるなどして、今後の改善につなげるようにした。



【「授業記録ファイル」の活用】

2 「アクライズ」(授業検証システム)の活用

「アクライズ」とは、先進校視察で訪問した石川県羽咋市で活用している45分の授業で「教師の指示・説明」「教師の問い返し」「教師の評価」「個人思考」「対話」の割合を数値化して分析する授業検証システムであり、これを根室市版に改良し、授業改善に活用した。授業を数値化し分析することにより、不必要な教師の指示や説明の削減、1単位時間で完結できる「導入・展開・終末」の時間配分等の改善が図られた。

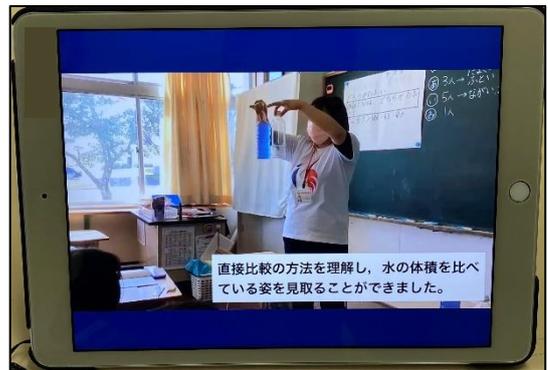
思考・判断・表現パターン	課題把握								個人思考				
	見通し	1	2	3	4	5	6	7		8	9		
教師の指示・説明	■												
教師の発問・問い返し													
教師の評価													
児童の個人思考(活動)													
児童同士の対話(反応)													
知識・技能パターン	課題把握								個人思考				
見通し	1	2	3	4	5	6	7	8		9			

【「アクライズ」の活用】

3 授業動画や「推進チーム通信」による好事例の普及

根室市教育委員会と連携し、授業改善の好事例を市内の学校で共有することができるよう、推進チームの教員が助言した授業を各学校の教員が撮影して教師用の端末内に保存し、市内の教員がいつでも閲覧できるようにした。優れた実践を共有することにより、市全体の授業力の向上を図った。

また、「推進チーム通信」は、学校全体で組織的に取り組む内容、授業や教室環境等の好事例の普及を目的として、配置校の管理職や教務主任及び研修部長などと連携し、定期的に発行した。



【教師用の端末から閲覧できる授業動画】

III 本実践の成果と課題

- 「授業記録ファイル」や「アクライズ」を活用したことにより、授業者は「指導と評価の一体化」「1単位時間で完結できる導入・展開・終末の時間配分」等を意識して授業を構想できるようになった。
- 「授業動画」や「推進チーム通信」等による授業改善の好事例の普及により、授業改善推進チームの指定校の取組が市内の学校へ還元され、根室市全体の取組の改善につなげることができた。
- 本事業の成果を市内の小・中学校で一層活用することができるよう、根室市教育委員会の取組である「根室市学力向上プロジェクト」等と連携し、小・中学校の連携や一貫教育の推進を図る必要がある。